

# 第6学年社会科学学習指導案

6年1組 31名

## 1 単元名 「日本とつながりの深い国々」

### 2 単元の目標

- 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流を果たす役割を考え、表現することを通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。
- 外国の人々の生活の様子について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとする。

### 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子について、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。</li> <li>○調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。</li> <li>○世界の国々の文化や習慣は多様であることと、スポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流を果たす役割を考えたり、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択、判断したりして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</li> <li>○学習したことを基に、世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。</li> </ul>

### 4 単元について

本単元は、日本とつながりの深い国については、どのようなつながり・交流があるのかを考え、数か国の中から子供が主体的に1か国を選択し、その国の人たちの生活や文化の特色や、日本との違いについて具体的に調べる活動が中心となる。また、調べたことを発表し合う活動を通して、学習の成果を全体で共有するとともに、社会科の見方・考え方を働かせ、考えを深めることができるようにする。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 調べたことをまとめる意欲を高めるために、「留学生の集まる大学構内に掲示する」ことを提案し、世界の人々の生活の様子を知ってもらふことを目的とする。また、「調べたことを分かりやすく見る人に伝えたい。」という意欲が高まるように、自分が調べたり考えたりしたことを、様々な国の人に読んでもらえるようにする。

#### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

#### 「グラフや表を用いて書く」

- ・目的に合った資料（グラフや表、図、写真）を選ぶ。
  - ・資料と文章を対応させて書く。
  - ・資料からわかることと、自分が考えたことを分けて書く。
- （「5年 グラフや表を用いて書こう」より）

#### グラフや表を説明するとき

- ① 何を表すグラフや表なのかを、まず述べる。
  - ② グラフや表の中の情報が、何を示しているか説明する。
  - ③ 注目する言葉や数字を示す。
  - ④ 注目する言葉や数字から、考えられることを述べる。
    - ・なんとという資料から引用したのかをグラフや表の近くに書く。
    - ・文章の最後に、参考資料の出典を明記する。
- （「5年グラフや表を用いて書こう」より）

#### 「相手や目的を考えて、効果的に伝える」

- ・目的に合わせて、相手の知りたい情報は何かを考える。
  - ・伝えたいことを、根拠を確かめたり、他と比べたりして選ぶ。
- 〈パンフレットなどで伝えるとき〉
- ・見出しやキャッチコピー、図や写真などを組み合わせて、読み手を引きつける。
  - ・物事のよさを的確に表す言葉や、具体的な数値を用いて書く。
- （「6年 ようこそ、私たちの町へ」より）

## 6 指導計画

<p><b>課題設定</b> 第1～3時</p> <p>○世界の国では日本と異なる生活があることに着目して、気付いたことや調べてみたいことを話し合い、発表する。</p> <p>○自分なりの根拠（日本とのつながり・交流）をもって調べる国を決め、何についてどのように調べるか学習問題をつくる。</p> <p><b>日本とつながりの深い国々について調べよう</b></p> <p>○世界の人々が集まる一橋大学のことを紹介し、作品づくりの学習計画を立てる。</p>	<p><b>課題追究・学習問題の追究</b> 第4～8時</p> <p>○児童が選択した国の人々の衣服や料理、食事の習慣、子供たちの遊びや学校生活、気候や地形の特色に合わせた暮らしの様子などを調べる。</p> <p>○その国の人たちの生活や文化の特色や、我が国との違いや共通点について考えたり、友達と意見交換をしたりして考えを深める。<b>(本時)</b></p> <p>○前時に決めたことや日本と外国の人たちの国際交流についてについて調べ、さらに調べたり、考えたりする。</p>
<p><b>課題解決・発信</b> 第9・10・11時</p> <p>○調べたことや考えたことをまとめるポスターや新聞の構成や内容を考え、ポスターや新聞にまとめる。</p> <p>○完成したポスターや新聞を大学に掲示し、留学生に見てもらう。</p>	

## 7 本時について（7/11）

### (1) 本時の目標

選択した国の人たちの生活の特色や我が国との違い、共通点について調べたり考えたりしたことをもとに、発表したり話し合ったりし、自分の考えを広げたり、深めたりすることを決める。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○本時のめあてを確認する。	
<p>調べたことを発表し合い、さらに調べたり考えたりすることを決めよう。</p>	
<p>○調べた項目や内容について発表し合い、学習成果を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に発表する内容を整理する。</li> <li>・これまでに調べたことを発表する。</li> <li>・感想を伝えたり、質問をし合ったりしながら、友達と意見交換をする。</li> <li>・深まった考えを付箋にメモする。</li> </ul> <p>○話し合いによって深まった考えを全体で発表する。</p> <p>○友達の意見を参考にしながら、さらに調べたり、考えたりすることを決める。</p>	<p>◇友達が調べた国について、他に特色はないかや、日本と比べてどうかなど、疑問や意見を積極的に出し合いながら、考えを深めていくことを助言する。</p> <p>◎国語の「未来がよりよくあるために」で学んだ「質問をするときによく使う言い方」を確認する。</p> <p>◇聞き手が積極的に発言できるように、話し合いのグループを少人数（2人～3人）にする。</p> <p>◇意見の出ないグループには教師が入り、話し合いの道筋を作るようにする。</p> <p>☆選択した国の人たちの生活の特色や我が国との違い、共通点について、考えを広げ、深めている。</p> <p>◇話し合いの良さ（考えの広がりや深まり）を紹介し、児童が考えの広がりや深まりを実感できるようにする。</p>

# 第6学年社会科学学習指導案

6年2組 31名

## 1 単元名 「日本とつながりの深い国々」

### 2 単元の目標

- 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流を果たす役割を考え、表現することを通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。
- 外国の人々の生活の様子について関心をもち、問題解決の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとする。

### 3 観点別評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子について、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、日本の文化や習慣との違いを理解している。</li> <li>○調べたことを図表や文などにまとめ、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は多様であることや、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子などに着目して、問いを見だし、日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。</li> <li>○世界の国々の文化や習慣は多様であることと、スポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、国際交流を果たす役割を考えたり、学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択、判断したりして表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国の人々の生活の様子について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</li> <li>○学習したことを基に、世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。</li> </ul>

### 4 単元について

本単元は、日本とつながりの深い国については、どのようなつながり・交流があるのかを考え、数か国の中から子供が主体的に1か国を選択し、その国の人たちの生活や文化の特色や、日本との違いについて具体的に調べる活動が中心となる。また、調べたことを発表し合う活動を通して、学習の成果を全体で共有するとともに、社会科の見方・考え方を働かせ、考えを深めることができるようにする。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 調べたことをまとめる意欲を高めるために、「留学生の集まる大学構内に掲示する」ことを提案し、世界の人々の生活の様子を知ってもらうことを目的とする。また、「調べたことを分かりやすく見る人に伝えたい。」という意欲が高まるように、自分が調べたり考えたりしたことを、様々な国の人に読んでもらえるようにする。

#### (2) 国語科で習得した技能の活用

- 本単元で活用したい「書くことの技能」を子供たちに明示する。

「グラフや表を用いて書く」

- ・目的に合った資料（グラフや表、図、写真）を選ぶ。
  - ・資料と文章を対応させて書く。
  - ・資料からわかることと、自分が考えたことを分けて書く。
- （「5年 グラフや表を用いて書こう」より）

グラフや表を説明するとき

- ⑤ 何を表すグラフや表なのかを、まず述べる。
  - ⑥ グラフや表の中の情報が、何を示しているか説明する。
  - ⑦ 注目する言葉や数字を示す。
  - ⑧ 注目する言葉や数字から、考えられることを述べる。
- ・なんという資料から引用したのかをグラフや表の近くを書く。
  - ・文章の最後に、参考資料の出典を明記する。
- （「5年グラフや表を用いて書こう」より）

「相手や目的を考えて、効果的に伝える」

- ・目的に合わせて、相手の知りたい情報は何かを考える。
  - ・伝えたいことを、根拠を確かめたり、他と比べたりして選ぶ。
- 〈パンフレットなどで伝えるとき〉
- ・見出しやキャッチコピー、図や写真などを組み合わせ、読み手を引きつける。
  - ・物事のよさを的確に表す言葉や、具体的な数値を用いて書く。
- （「6年 ようこそ、私たちの町へ」より）

## 6 指導計画

### 課題設定 第1～3時

○世界の国では日本と異なる生活があることに着目して、気付いたことや調べてみたいことを話し合い、発表する。

○自分なりの根拠（日本とのつながり・交流）をもって調べる国を決め、何についてどのように調べるか学習問題をつくる。

日本とつながりの深い国々について調べよう

○世界の人々が集まる一橋大学のことを紹介し、作品づくりの学習計画を立てる。

### 課題追究・学習問題の追究 第4～8時

○児童が選択した国の人々の衣服や料理、食事の習慣、子供たちの遊びや学校生活、気候や地形の特色に合わせた暮らしの様子などを調べる。

○その国の人たちの生活や文化の特色や、我が国との違いや共通点について考えたり、友達と意見交換をしたりして考えを深める。**(本時)**

○前時に決めたことや日本と外国の人たちの国際交流についてについて調べ、さらに調べたり、考えたりする。

### 課題解決・発信 第9・10・11時

○調べたことや考えたことをまとめるポスターや新聞の構成や内容を考え、ポスターや新聞にまとめる。

○完成したポスターや新聞を大学に掲示し、留学生に見てもらう。

## 7 本時について

### (1) 本時の目標 (10/11)

日本とつながりの深い国々の国土や産業、生活などに着目して、その国の人たちの生活や文化の特色や、日本の文化や習慣との違い、日本とのつながりについて、調べたり考えたりしたことをポスターや新聞にまとめることができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○本時のめあてを確認する。	
調べたことや考えたことを「ポスターや新聞」にまとめよう <b>【その国の人たちの生活や文化の特色について】</b> <b>【日本との相違点や共通点について】</b> <b>【日本とのつながりについて】</b>	
○構成表や付箋をもとに前時を振り返り、自分の調べたことや考えたことを確認する。	◇前時に考えた割り付けやキャッチコピー、見出しについて、どんな見方や考え方をしたのかなどを確認する。
○国語科で学習した「まとめ方」について確認する。	◎「モデル文」や「書き方のポイント」を提示する。 *グラフや表の活用の仕方 *紹介文の書き方
○世界の国々と人々の暮らしについて調べたことや考えたことを、ポスターや新聞にまとめる。	◎読んでもらう相手や場面を確認し、「相手意識」「目的意識」をもって書けるようにする。 ◇資料と文章を対応させて書くことや、読み取った事実と考えを明確にして書けるよう助言する。 ☆自分が選んだ国について、国土や産業、生活などに着目して、その国の人たちの生活や文化の特色や日本の文化や習慣との違いについて、考えを表現している。
○作品を見合い、書き方の良さを共有したり、アドバイスをしたりする。	◇作品を共有することで、次の時間も自信をもって新聞やポスターを作ることができるようにする。

